

Campus Today



松本歯科大学

発行所 学校法人 松本歯科大学

長野県塩尻市広丘郷原1780

(0263) 52-3100

www.mdu.ac.jp

1部60円

順天堂医院
睡眠・呼吸障害センター長

葛西隆敏 先生が講演

「睡眠時無呼吸症候群の診断と治療」 持続気道陽圧法（CPAP）療法について解説

8月30日（水）、順天堂医院睡眠・呼吸障害センター長・順天堂大学大学院医学研究科心血管睡眠呼吸医学講座准教授 葛西隆敏先生（本学臨床教授）をお迎えし、本館601教室で病院セミナーが開催された。多くの医療従事者が聴講し、さまざまな健康問題を引き起こす「睡眠時無呼吸症候群の診断と治療」について学んだ。

葛西先生は、順天堂大学医学部卒業後、同大学大学院（循環器内科学）を修了され、虎の門病院睡眠センターにて「循環器疾患と睡眠時無呼吸症候群（SAS）との関連」についての臨床研究に取り組み、さらにトロント大学に留学しSASの研究を進展させ、現在に至っている。

睡眠時無呼吸症候群は、日中の突然の眠気の特徴とし、交通事故を起こす危険性や心筋梗塞などの心疾患との関連が指摘され、その治療の有無が5年後、同大学大学院（循環器内科学）を修了され、虎の門病院睡眠センターにて「循環器疾患と睡眠時無呼吸症候群（SAS）との関連」についての臨床研究に取り組み、さらにトロント大学に留学しSASの研究を進展させ、現在に至っている。

睡眠時無呼吸症候群は、日中の突然の眠気の特徴とし、交通事故を起こす危険性や心筋梗塞などの心疾患との関連が指摘され、その治療の有無が5年後、同大学大学院（循環器内科学）を修了され、虎の門病院睡眠センターにて「循環器疾患と睡眠時無呼吸症候群（SAS）との関連」についての臨床研究に取り組み、さらにトロント大学に留学しSASの研究を進展させ、現在に至っている。



講演する順天堂医院睡眠・呼吸障害センター長の葛西先生

睡眠簡易ポリグラフにより、無呼吸低呼吸指数（AHI）として、睡眠1時間あたりの無呼吸や低呼吸の平均回数を調べることで、軽症（5〜15）、中等症（15〜30）、重症（30以上）を診断できることも紹介された。簡易検査で中等症以上と診断された場合は、精密検査として、睡眠ポリグラフ（PSG）検査（1泊入院）を行い、血中酸素飽和度（ SO_2 ）・気流センサー・いびきセンサー・呼吸運動センサーに加え、脳波・眼輪筋電図・頰筋電図などの検査を行う。

睡眠時無呼吸症候群患者においては、血中酸素飽和度（ SO_2 ）の低下を伴う無呼吸状態を解除するために脳の覚醒反応が起こり、異常な体動、頻尿、睡眠の分断化や深睡眠の不足・欠如、睡眠の質の低下となる。そして、起床時の頭痛、日中の眠気・疲労感、集中力の低下などの症状を伴う。しかしながら、昼間は症状が認められず、活発に仕事をする男性が睡眠時無呼吸症である場合も多い。

睡眠時無呼吸となりやすい体型としては、肥満・首が短い・小さい下顎など、男性に多く、飲酒や疲労も原因となる。また、日本人の睡眠時無呼吸患者の多くは、軽度な肥満レベルに過ぎない場合が多い。近年、睡眠時無呼吸患者の特徴は、生活習慣病（高血圧・脂質代謝異常・糖尿病）と合併しやすいことが明らかにになってきた。さらに、男性においては「閉塞性睡眠時無呼吸の重症度と心不全発症との関連性」が米国の疫学研究から証明された。そこで登場したのが、鼻から気道に空気をかけることにより、気道を風船のように膨らませて気道を確保する持続気道陽圧法（CPAP）療法である。酸素マスクのような装置で、機器は医療機関からレンタルでき、1カ月1350点

の保険適用で治療可能である。CPAP治療によって、無呼吸・低呼吸・いびきや日中の眠気の消失および「高血圧・動脈硬化・糖尿病の改善による心血管リスクの軽減」に貢献できる臨床結果が蓄積してきた。1日4時間以上のCPAP装着により、心臓疾患予防効果が認められる結果も得られている。CPAP使用のデータは患者の使用機器から自動的にクラウドへ情報が送られ、無呼吸状況や機器の使用状況などが遠隔でデータ管理され、1カ月ごとの受診により問題の解決や患者の動機付けに活用される。しかしながら、CPAP療法の最大の課題点は装着の煩雑感による患者の忍容性が挙げられ、20〜50%の脱落例が認められる。

CPAP以外の治療方法としては、体重減量や扁桃摘出、舌下神経電気刺激療法があるが、すべての患者に適用ではない。最近注目されているのは、歯科医師との連携によるマウスピースによる治療方法である。マウスピースの効果は、CPAP療法には及ばないが、無呼吸低呼吸指数（AHI）を低下させる。本学病院においては、「耳鼻いんこう科」において相馬啓子教授が、睡眠時無呼吸患者の検査およびCPAP治療を行ってき外来」においては、富士岳志講師（地域連携歯科学講座）が、マウスピース治療を担当している。マウスピース治療には、医

科における睡眠時無呼吸症候群の診断が必須であり、対象はCPAP離脱患者およびCPAP使用対象外の中程度の睡眠時無呼吸患者である。専用のマウスピースで下顎前方に固定することにより、舌根沈下を抑え、気道確保を行う。本装置の効果は個人差があり、歯周病進行患者や顎関節症患者には適応困難となる。

本セミナーには多数の学内外医療従事者が集まり、睡眠時無呼吸症候群の診断と治療に対する関心の深さが認められた。睡眠時無呼吸症候群治療に対し、強い使命感を持って日夜診療業務にあたっておられる葛西先生の益々のご活躍を祈念したい。

（歯学部 先化学講座 教授 宇田川信之）

東京歯科大学理事長 井出吉信先生が特別講義 「摂食嚥下に関連した解剖学」

9月21日（木）3時間目、本館602教室において東京歯科大学理事長の井出吉信先生による第6学年を対象にした特別講義が企画・開催された。

講義テーマは「摂食・嚥下に関連した解剖学」で、最初に過去と現在の年齢分布を示され、歯科医療が超高齢者に対して向き合うことの重要性を説かれた。動画や実物標本写真による嚥下運動のメカニズムの解説は非常にわかりやすく、また外見からは観察ができない複雑な動きを把握でき、摂食嚥下メカニズムの理解度アップにもつなが

った。

講義中、特に舌骨上筋群や咀嚼筋について起始や停止、神経支配、機能について学生たちに質問され、彼らの反応や回答を感じ取りながら、より正確な知識を追求しつつ、さらに臨床とも関連する内容も解説された。また、咀嚼筋をネコなどの動物とヒトを比較するところが異なるのか。その理由は何によるのか。など非常に興味深い内容もわかりやすく講義された。

講義のまとめでは、学生に向けて「ただ暗記のみでなく、関連付けて知識を整理し、理解することが重要である」と力説された。講義終了後、学生を代表し松浦宏季君が「摂食嚥下のメカニズムをわかりやすく講義してください。ありがとうございます」と感謝の言葉を述べた。その後、井出先生を囲

った。

講義中、特に舌骨上筋群や咀嚼筋について起始や停止、神経支配、機能について学生たちに質問され、彼らの反応や回答を感じ取りながら、より正確な知識を追求しつつ、さらに臨床とも関連する内容も解説された。また、咀嚼筋をネコなどの動物とヒトを比較するところが異なるのか。その理由は何によるのか。など非常に興味深い内容もわかりやすく講義された。



第6学年に特別講義を行う井出先生

（解剖学講座 教授 金堀英二）

超極秘の北朝鮮会談記録すべて公開します

内閣官房参事
松本歯科大学常務理事
特命教授 飯島 勲

今月号は『プレジデント』10月13日号「リーダーの掟飯島勲」より、飯島先生が2013年に北朝鮮に単独訪問した際の会談記録についての記事を要約して紹介します。

私はこのほど、2013年5月に単独訪朝した際の北朝鮮幹部3人との会談記録を『文藝春秋』誌に公開した。

今年5月、岸田文雄首相が「条件を付けずにいつでも金正恩委員長と直接向き合う」「私直轄のハイレベルで協議を行っていききたい」と、拉致問題解決に向けての決意を表明して本気で取り組む岸田首相のため、墓場まで持っていくと考えたこの記録を公開しようと決めた。

日本政府の北朝鮮問題への基本的な考え方は「対話と圧力」である。しかし、現実には「圧力」のみで「対話」が不足している。私は彼らと会談してみても「対話」の重要性を強く感じた。それは



飯島先生の北朝鮮との交渉記録を掲載した『文藝春秋』10月号

を明記しておきたい。

内閣官房参事という立場で海外に出る際には、官房長官の許可が必要になるため、出発の前には安倍首相と菅義偉官房長官には、日程と会談相手について報告した。2人からは承諾を得たものの、大きな反応はなかったことを覚えている。会談を終えて帰国した後に、安倍首相に報告した際も、大きな反応はなく、私はこの会談記録を渡すことはできなかった。

話を会談の内容に戻そう。私は4日間の平壤滞在中に、朝鮮労働党の序列第2位で最高人民会議常任委員長だった金永南氏、対日関係の窓口役を務める朝鮮労働党中央委員会書記の金永日氏、さらに朝日国交正常化交渉担当大使の宋日昊氏と会談した。

宋氏との初回の会談で最も長い時間を割いたのが横田めぐみさんの問題である。北朝鮮の見解として、「めぐみさんは死亡したと伝えたのに日本側は生きていると信じて必ず返せと言ってくる。当方では様々な論拠をあげているのだが、認識の差が大きい」と述べていた。私が「めぐみさんの問題は、(なぜ)13歳の子どもが拉致されたのか理解できないという点が大きい」と訴えると、宋氏は拉致事件発生当時の実行犯が置かれた状況や、北朝鮮側の調査体制などを説明した。

私が重ねて質問すると、北朝鮮側の出席者は、「またこの話か」と嫌そうな表情になったが、宋氏は、「日本側がなぜ理解できないかを理解する」と答えた。私は、日本側のめぐみさん拉致事件に関する感情的な部分が宋氏に伝わったように感じ、解決の可能性が広がった気がした。

この日朝の認識の違いについては、04年に北朝鮮が提出しためぐみさんのものと称する遺骨



北朝鮮の金永南氏と会談する飯島先生 (左)

を外務省がDNA鑑定の結果「偽物」と断じたことが話を複雑にしたと思う。その後、鑑定にあたった研究者が英国の権威ある科学誌「ネイチャー」で「結果は断定できない」と語っており、当時の鑑定が確実な結果とはいえなかったようだ。北朝鮮の火葬場の実情なども含めて、双方が納得できるだけの徹底的な科学調査を行っていれば、ここまでこじれることはなかったのではないかと思う。

創立者の「視点」



大学誌編集主幹
特任教授

笠原 浩

時間を要する保存治療への応用例はほとんど存在していなかった。しかも、患者の全身状態の把握も不十分なままであったし、外来患者を座位で施術していたから、事故も必ずしも少なくはなかった。

口腔外科の手術とならば、臨床検査もきっちり済ませた上で入院させて万全の管理体制下で施術するし、気管内挿管による閉鎖循環式の麻酔システムの安全性は極めて高いものとなっていた。しかし、60年代前半までのわが国での主力麻酔剤はエーテルのみであり、気道刺激性が強く、導入覚醒が迅速ではないため、成人では静脈麻酔での導入が定式となっていた。つまり、静脈確保が容易ではない乳幼児には使いにくい麻酔法だったのである。

筆者らは、口唇裂や口蓋裂の手術を受ける乳児などには、ラボナール注腸で基礎麻酔を施してからエーテル開放点滴法で麻酔導入を行っていたものだった。

この難点を解決したのが、60年代後半になって、新たに使用できるようになったハロタン(フロレン®)という強力で迅速導入が可能な吸入麻酔剤であった。

「注射恐怖症」の子どもであっても、マスクによるガス吸入は嫌われない。まず施術者がマスクで酸素を吸って見せてから「自分でやってごらん」と手渡せば受け入れてくれる。

母校のスタッフの援助が確保できたところで、早速実施することにした。保護者への十分な説明と同意、事前の臨床検査、1泊2日の入院といった体制を整備し、第1例を迎え入れた。なんと久保田教授ご自身が麻酔医を務めてくださった。

第35回松濤祭

4年ぶりに10月7日開催

ゲストは狛犬、ムーディ勝山ほか

多彩な模擬店や警察車両展示も

第35回大学祭「松濤祭」が10月7日(土)午前10時から午後3時まで、講義館駐車場を主会場にして開かれる。これまでは春に観覧会と同時開催してきたが、新型コロナウイルスの影響を受け、時期を変え4年ぶりに単独開催する。学生たちは、ス



メディアの取材を受け松濤祭をPRする実行委員たち

ペシヤルゲストのお笑いコンビの狛犬さん、お笑いタレントのムーディ勝山さん、NHKEテレビ供向け工作番組「つくってあそぼ」で人気を集めたワクワクさんこと久保田雅人さんのステージをはじめ、さまざまな企画を練り、準備に奔走している。

今回のテーマは「50+1」。本学が2022年に創立50周年を迎えたことを踏まえ、新たな一歩を目指し、第1〜5学年の20人で行く実行委員会が中心になり準備を進めている。

軽音楽部所属の複数のバンドの演奏があったり、学生によるスナック類の模擬店や、地元で人気のインド料理、ジェラート店などの飲食のブローが出店したり、陸上自衛隊松本駐屯地や塩

理工学講座 横井由紀子准教授 機能的マウスピース矯正の有用性を検証

第5回プレオロソ研究会にて講演

第5回プレオロソ研究会(フオレスト・ワン主催)が7月9日(日)、「機能的マウスピース矯正の現在と未来」をテーマに、東京都のフクラシア品川クリスタルにて開催された。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となった後、約3年ぶりに再開されたもので、200名を超えるオンデマンド視聴に加えて、現地には120名の参加者が参集した。

機能的マウスピース型矯正装置であるプレオロソは大塚淳先生(岡山県矯正歯科専門開業)によって開発され、成型された



講演した横井准教授(右)と筆者

「と題して、横井先生が有限要素法を用いてこれまでに検討し論文執筆を行った研究データと共に、研究会のテーマであるプレオロソを用いた下顎前突症例を改善するために発生する矯正力について、視覚的に観察した研究について解説をおこなった。臨床・基礎の両面から機能的マウスピース型矯正装置の可能性と更なる発展・普及を期待することが出来る有意義な研究会であった。

(硬組織発育制御工学講座 教授 岡藤正

60年前の歯科医療(9)

新しい全身麻酔学のノウハウをしっかりと学んできたのだから、これを活用してみたいというわけである。

具体的治療計画を作成して、まずは教室の久保田康耶先生にご相談した。すると「万」にでも事故を起こすようなことがあれば、日本の歯科麻酔の将来にも悪い影響が及ぶよ」ときつく釘を刺された上で、全面的に賛成していただいた。

歯科治療での全身麻酔としては、この時代の欧米では高濃度の亜酸化窒素の吸入で意識を喪失させる「笑気麻酔(笑気吸入鎮静法とは全く異なる)」が広く用いられていたが、それは短時間で完了する抜歯の無痛化を目的とするもので、ある程度

時間を要する保存治療への応用例はほとんど存在していなかった。しかも、患者の全身状態の把握も不十分なままであったし、外来患者を座位で施術していたから、事故も必ずしも少なくはなかった。

病院だより vol.53

ドライマウスは
体調不良のサイン？

秋から冬にかけて空気が乾燥した日々が続きますが、口の中が乾くことはありませんか？この時期に発症が多い病気の一つがドライマウス（口腔乾燥症）です。潜在患者を含め、実は4人に1人もの割合で罹患する隠れた現代病ともいわれています。

ドライマウスとは、唾液の分泌量が減り、口が乾きやすくなる疾患です。国内の患者数は約800万人、予備軍は約3000万人と推定されています。65歳以上が30%を占め、女性に多く見られます。口腔乾燥を訴える人はさらに増え続ける傾向にあります。この病気についての認知度はまだまだ低いのが実情です。原因としては、秋から冬にかけての空気の乾燥や暑い夏に比べ、徐々に水分摂取量が減ってしまうことなども挙げられます。

また、ここ数年は新型コロナウイルス感染症によるマスク着用の影響もあると考えられます。すなわちマスク着用により鼻呼吸がしづらくなり、マスク内での口呼吸により口の中が乾燥し、ドライマウスを誘発することも一因として考えられています。

ドライマウスの予防と対策！

- ✓ 唾液腺をマッサージする。
- ✓ 口腔保湿ジェルや保湿効果のある洗口液を用いる。
- ✓ よく噛んで食事をし、唾液の分泌を促す。
- ✓ 鼻呼吸を心がける（鼻呼吸することで口の中の潤いを保つ助けとなる。夜間に口が乾く人は、口にマウステープを貼って寝るのもおすすめ）。
- ✓ 口渇を促進させるカフェイン、タバコ、アルコールを控えるなど

さらに、自己免疫疾患の一種であるシェーグレン症候群をはじめ、糖尿病や腎臓病、高血圧症などの病気によるもの、アレルギー

ルギーの薬や抗うつ剤、血圧降下剤などの薬の副作用、ストレス、口呼吸、加齢による唾液量の減少なども考えられます。ドライマウスの症状としては、口が乾く、ビスケットなどの乾いた食品が飲み込みにくい、唾液がネバつく、舌の痛み、味覚異常などがあります。また、

ドライマウス罹患後は、う蝕や歯周病の重症化、口臭の悪化、感染症のリスク増加、口角炎、摂食嚥下障害、カンジダ症などを引き起こす可能性もあり、単に口の中が乾くだけ、と軽く見てはいけません。このように唾液には、口の中を正常な状態に保ち、雑菌の繁殖を抑え、飲み込みの助けをするなどの重要な働きがあるため、分泌量が減るとさまざまな影響を及ぼすので早めの対策が必要です。

（口腔外科 教授 栗原祐史）

松本歯科大学市民公開講座がスタート
「歯科医療相談」をテーマに教授らが講演



市民公開講座でインプラントについて講演する樋口教授

松本歯科大学の市民公開講座が塩尻市市民交流センター（えんぱーく）を会場に9月19日（火）からスタートした。「歯科医療相談」をテーマに全4回シリーズで本学教授や准教授らが各専門分野について講演する。

初回は、歯科補綴学講座の樋口大輔教授（病院長・インプラントセンター長）が「インプラントって本当にいいの？」と題して講演した。樋口教授は歯を失った場合の治療法として、①ブリッジ（固定式の入れ歯）、②取り外しの入れ歯、③インプラントの3つを挙げ、それぞれの長所と短所を詳述した。ブリッジはコストパフォーマンスがよいが、隣の歯を削らなければならない。入れ歯は外して掃除がしやすいが、着脱が面倒で入れ歯の下に汚れが溜まりやすい。インプラントは骨に人工歯根を埋め込むので自分の歯の感覚に近いが、手術を要し治療期間が長く、治療費が高い。以上のことを説明し、「3つの治療法の利点・欠点を理解したうえで、担当医と相談してどれを選ぶか決めてください」と呼びかけた。

日本口腔インプラント学会の調査を引用し、インプラントを埋入した約8割の人が「非常に満足している」と答え、約9割の人が「よく噛める」と実感していることも述べた。また、本学病院の口腔インプラントセンターについて触れ、ていねいに審査・診断をし、デジタル技術を用いたインプラント埋入シミュレーションや、マウスピースを使用した手術「ガイドドサージェリー」などを駆使して安心・安全な治療を行っていることを強調した。

そのほか、インプラントの耐用年数や費用、メンテナンス、埋入手術が受けられる年齢や条件などをわかりやすく話し、聴講者はインプラントに関する理解を深めていた。

26日（火）には、歯科麻酔学



講演する谷山准教授

講座の谷山貴一准教授が「歯医者に行くのが怖くないですか？」と題して講演した。

谷山准教授はまず、病院の歯科麻酔科では、さまざまな歯科診療のニーズに即した全身麻酔や部分麻酔、鎮静法を実施していることを紹介した。

次に、精神鎮静法について言及した。歯科治療でストレスを受けると、血圧上昇や脈拍増加、狭心症などの全身的偶発症を引き起こす可能性がある。そのようなストレスを感じる患者さんや、歯科恐怖症の患者さんに対しては、意識を失わない程度に

宇田川信之歯学部長が理事長として講演

第65回歯科基礎医学学会学術大会

9月16日（土）から18日（月・祝）まで、秋晴れの中、東京御茶ノ水駿河台に新築された日本歯科大学本部本館をメイン会場として、第65回歯科基礎医学学会学術大会が開催された。



講演する宇田川理事長

宇田川理事長は、本学から初めて参加発表した石莉楠大学院生（硬組織疾患制御再建学講座）がモリタ優秀発表賞（生化学部門）を受賞した。

学術大会初日には、宇田川理事長による定時社員総会が開催され、その後「歯科基礎医学学会の存続と大いなる発展を目指して」というタイトルで理事長講演が行われた。宇田川理事長はまず、1959年の桐野忠大初代会長（薬理学講座教授）と篠田雅路準備委員長（生理学講座教授）による1年間以上の準備期間を経て、「個儼不羈（てきとうふき）」（拘束されず高い志を持ち枠組みに縛られず研究を進める）をテーマとし、興味深い様々なプログラムが構築された。2018年の学術大会以来の3日間にわたる完全対面学会となり、延べ900人以上の参加者数を記録した。

ロッセ基金特別講演では、東京大学薬学部の池谷裕二教授による「脳をAIに接続したら何が出来るようになるのだろうか？」、東京大学医科学研究所の石井健教授による「新しいワクチンサイエンスとデザイン」といった素晴らしい最新研究が紹介された。また、本学からはじめて参加発表した石莉楠大学院生（硬組織疾患制御再建学講座）がモリタ優秀発表賞（生化学部門）を受賞した。

宇田川理事長は、本学から初めて参加発表した石莉楠大学院生（硬組織疾患制御再建学講座）がモリタ優秀発表賞（生化学部門）を受賞した。

日本テレビ系列の特別番組

「100クエスチョン」で

北川純一教授がコメント解説

9月10日（日）に放送された、日本テレビ系列の特別番組「100クエスチョン」において、

本学生理学講座の北川純一教授のコメント解説が紹介された。同番組は、川島明さん（麒麟）、山崎弘也さん（アンタッチャブル）、大久保佳代子さんが出演し、ロケ先であらゆる疑問を投げかけて、それを解決していくというバラエティ番組。

数ある疑問の中、「夏にビールが美味しいのはなぜ？」という疑問に対して、のどの感覚について研究を続けている北川教授に回答依頼があり、「ビールの苦みはコクを感じやすいのに加え、炭酸が乾いた喉の粘膜を刺激する」（北川純一松本歯科大学教授）との解説コメントが披露され、疑問に応えた。



放送された北川教授のコメント解説

Alumni News

松本歯科大学校友会

香川県支部

香川県支部創立30周年記念学術講演会 香川大学医学部の三宅教授、助川准教授が講演

講演となりました。宮脇支部長の開会の挨拶では、参加者の皆様に感謝の意が述べられ、香川県歯科医師会豊嶋会長より祝辞をいただきました。次に本学よりおいでいただいた宇田川歯学部長より祝辞が述べられ、大学の近況報告がなされ、ついで宮脇支部長のご息である宮脇理功先生（病院矯正歯科）より大学案内がなされました。



香川県支部創立30周年記念学術講演会に参加された先生方

9月10日（日）にホテルパールガーデン高松において、校友会香川県支部創立30周年記念学術講演会が開催されました。創立以来継続してきた学術講演会は、これまで県内外よりたくさんの方々の講師の方々にお越しいただき、一貫して参加自由の精神で開催してきましたが、ここ数年コロナ禍の影響で休止を余儀なくされました。ようやく再開の目処がたった本年が奇しくも30周年となり、感慨深い記念

参加いただいた他大・学同窓会の先生方、コデントの方々には、日頃よりお力添え、ご協力いただき、感謝の念に堪えません。本当にありがとうございます。

今回の講演は、香川大学医学部歯科口腔外科学講座から三宅実教授、助川信太郎准教授の両名をお迎えして大学との連携、最新の治療法、研究について講演いただきました。以下に講演の概要を記します。

第一講演は「歯科・口腔外科領域での内視鏡支援治療」と題して、香川大学医学部歯科口腔外科学講座・三宅教授にご講演いただきました。

歯科において内視鏡のメリットは低侵襲で安全に治療ができる点にあり、かつ精度の高い画像を大画面で見られるため、診断や、時に術式すら変えてしまう点にあります。

大学では既にさまざまな領域で、依田窪病院を中心として行われた肝炎撲滅を目指す長和プロジェクトにおけるB型およびC型肝炎患者のスクリーニングシステムの構築についても紹介された。

さらに、免疫制御型好酸球であるILC2は陽性細胞が小腸に多いことから、消化管における新しい好酸球の役割について明らかにした研究結果やアップルウォッチを参考にした新規の城下ウォッチの開発計画などを紹介され、臨床と直結した基礎研究の面白さを説明された。

今後、健康長寿県としての長野県における肝炎撲滅プロジェクトが進行すると共に、城下先生の今後の益々のご活躍を期待したい。

（歯学部長 生化学講座 教授 宇田川信之）

信州大学医学部健康推進学講座 城下 智特任教授 ウイルス性肝炎と免疫制御型好酸球の観点

8月18日（金）、国保依田窪病院副院長・信州大学医学部健康推進学講座特任教授の城下智先生をお迎えして大学院セミナーが開催された。城下先生は、上田高校を経て新潟大学医学部を卒業し、信州大学大学院を修了後、同大学医学部内科学第二教室（消化器内科）にて、臨床・教育・研究に携わってこられた。



講師の城下先生

本邦における肝硬変や肝がんの成因は、約7割がウイルス性肝炎（HCV・HBV）に起因するものである。HCV・HBVは、血液・体液を介して感染するため、歯科診療の際にも注

意を要する場面がある。また、HCVやHBVが持続感染すると自覚症状のないままに肝硬変や肝がんが進行し得るため、感染の早期発見と早期治療が重要である。医療の現場では、ウイ

ル性肝炎の検査を施行する機会はいくつもあり、医師・歯科医師は検査の結果について、陰性・陽性にかかわらず説明する義務を負っている。さらに、治療が進歩したことなどから、本邦は肝炎撲滅を目指すステージにあると考えられている。

本セミナーにおいては、ウイルス性肝炎の現状、および、歯科医師が注意すべき点などについてわかりやすくお話しいただいた。

城下先生の講演から、肝炎治療において今まで主流であったインターフェロンに代わり、直接作用型抗ウイルス剤の使用により、沈黙の臓器（脂肪肝）からいつのまにか肝臓がん進展する」と言われてきた肝臓疾患治療の進歩を学ぶことができた。

（歯学部長 生化学講座 教授 宇田川信之）

（歯学部長 生化学講座 教授 宇田川信之）

お知らせ

本学では2014年より、「よく噛んでおいしく健康に」をテーマに、食感や噛み応えがあり自然と噛むことの普及を推進し、写真コンテストを開催しています。10回目を迎える今回は、ホテルシェラリゾート 白馬の金澤光久総料理長による、家庭で手軽にできる「噛んで美味しいフレンチ」の料理教室も開催！



金澤総料理長

料理教室
◆テーマ「噛んで美味しいフレンチを自宅で！」
◆開催日時・場所 11月18日（土）10時～14時 えんばーく
◆応募期間 10月5日（木）～26日（木）
◆定員 12名（申込多数の場合抽選）
◆申込方法 info@cscc@mdu.ac.jp からメールで参加をお申込みください。

色こく反映されている成果といえると思います。

一方臨床では、悪性腫瘍、急性炎症、抜歯やインプラントなどの歯槽外科手術、外傷手術など様々な疾患への口腔外科治療を紹介していただきました。また、助川先生は松本歯科大学歯科放射線学講座・田口明教授や病理学講座・嶋田勝光講師との共同研究もされており、我が大学と縁が深いことが紹介され、非常に誇らしい思いでした。

懇親会では、参加された先生方と楽しいひと時を過ごさせていただき、様々な友好関係が築け、実りあるものとなりました。

（21期生 西村健司）

写真部ギャラリー ～今月の一枚～



『スーパーブルームーン』 撮影：田村浩輝（第1学年）
月が最も地球に接近する「スーパームーン」と、ひと月で2回目の満月「ブルームーン」が8月31日夜、13年ぶりに重なりました。キャンパスインの庭からも大きく輝く月が見え、月面をはっきりと捉えることができました。

Matsumoto Dental University SNS Information



LINE



twitter



Instagram



facebook

人事異動

〔採用〕
李 元鼎 9月1日付
（研修歯科医）
〔配置換え〕
三溝 真紀 9月1日付
（外来看護師若手講師チーム）

25日（水）
大学院発表会
28日（土）
総合型選抜（1期）・編入学選抜（1期）
留學生選抜（C）
29日（日）
一日体験入学（歯学部）

13日（金）
学校推薦型選抜
指定校・公募制（衛生学院）
12日（木）
学校推薦型選抜
指定校・公募制（衛生学院）
11日（水）
戴帽式
7日（土）
松濤祭
4日（水）
防火・防災・消火訓練（大学・病院）
1日（日）
一日体験入学（歯学部）
〔自己都合〕
西ヶ久保 営外看護師若手（ホトケマ）
9月10日付

第10回カムカムメニュー 写真コンテスト作品募集



10月行事予定

受験生の皆さんへ

総合型選抜（I期）

試験日 10月28日（土）
出願期間 10月10日（水）～10月25日（水）

一日体験入学

① 10月1日（日） ② 10月29日（日）
※10月開催分のみ掲載
開催時間 9:30～15:00（受付 9:15～）
●キャンパスツアー ●ランチ体験
●模擬実習 ●入試説明・進学相談 など
※参加希望の方は、本学ホームページまたは下記までご連絡ください。

■お問い合わせ■
HOT LINE 0263-54-3210
松本歯科大学 入試広報室
www.mdu.ac.jp